

# 6月は環境月間です

現在、私たちを取りまく環境は、地球温暖化や資源・エネルギー問題などの地球規模のものから、ごみ処理問題や不法投棄などの身近なもので、様々な課題を抱えています。これらの環境問題の多くは、私たちが利便性や豊かさを追求した「こと」により発生したものです。市民の皆さんは、環境問題は自らの手で解決していく問題であるのだと認識し、日頃の生活様式を見直していくことが求められます。「自然豊かな北秋田市と、美しい地球を子孫に引き継いでいけるように」一人一人が将来に向けて、責任を持った行動を実践していきましょう。



あなたは環境にやさしい行動を  
実践していますか？

## 家庭でできる地球温暖化対策

「地球温暖化問題」は、誰もが耳にしたことのある言葉だと思えます。地球の温暖化を少しでも遅らせ防止していくためには、日頃の生活から無駄をはぶき、「二酸化炭素」などの温室効果ガスを不必要に発生させない心掛けが大切です。次の8つの取り組みのうち、できるものから始めてみましょう！

- 冷房の温度を1 高く、暖房を1 低く設定する
- 自家用車の運転を控え、通勤や買い物の際にバスや鉄道、自転車を利用する
- 1日5分のアイドリングストップを行い、駐車するときは車のエンジンを切る
- 待機電力を削減するため、主電源を切り、長時間使わないときはコンセントを抜く
- 家族全員が、シャワーを一人1日1分減らし、お湯を流しっぱなしにしない
- 家族全員が同じ部屋で団らんし、なるべく冷房・暖房や照明の利用を減らす
- マイバックを持ち歩き、レジ袋の利用を控える
- 一人ひとりが、1日1時間テレビ利用を減らし、見たい番組だけ選んで見る

## 廃棄物の不法投棄は犯罪です

この自然豊かな美しい北秋田市にも、廃棄物の不法投棄があつとを絶ちません。空き缶などのポイ捨てごみ、テレビや冷蔵庫などの家電ごみ、農機具、車やタイヤなど、処理に困るものがごみとして沢山捨てられています。中には、「ごみを目立たないようにするためか、わざとごみを道端から谷底に落とすように捨てている悪質なケースも確認されています。悪質な不法投棄事件は警察に引き渡し、処罰を受けたケースも何件もあり、数十万円もの罰金刑に処せられています。



ストップ!! 不法投棄

## 廃棄物の野焼きは処罰の対象です

暖かくなり、野焼きに関する苦情が出始めており、野焼きが原因と思われる原野火災も発生しています。中には、土日や夜間など、注意されにくい時間帯等を狙って野焼きをされているケースもあるようです。焼却施設を使わずに屋外で焼却した場合、ダイオキシン類が発生し、周囲の生活環境に悪影響を及ぼす可能性があります。廃棄物処理法及び秋田県公害防止条例の規定により、野焼き行為は処罰の対象です。



野焼きはやめましょう

## 犬のフンの後始末は飼い主の義務です

犬に関する苦情や相談が多数寄せられております。苦情内容で特に多いのは、フンの放置や放し飼いにによる通報です。どれも、飼い主がマナーを守り、しつけをきちんとしていれば、なくすことができることばかりです。犬を飼っている人も、飼っていない人も、気持ちよく暮らせる街づくり。愛犬家の皆様は是非ご協力ください。



うんち拾ってね

## 第59回全国植樹祭



6月15日、県立北秋の杜公園で全国植樹祭が開催されます。全国から多数の関係者・参加者が北秋田市を訪れます。来訪者によい思い出をつくらせてもらうためにも、市内の美化に努めるほか、迷惑がかけられないように心がけましょう。

## 防犯環境整備促進啓発事業「ご近所でシャル・ウィ・ロック」の参加団体の募集

秋田県は、鍵を掛けずに盗難被害に遭う人の割合が高く、被害にあったケースで、住宅においては6割、車上ねらいにおいては8割が無施錠です。そこで、県では日常的に鍵を掛けるなど地域の防犯力の向上を高めるため妙案を考え、実践する団体を募集します。

対象となる団体：町内会・自治会・自主防犯活動団体・老人クラブ・子ども会など

《問い合わせ先》

秋田県生活環境部 安全・安心まちづくり推進課 ☎：018-860-1523

## たけのこ採り、行き先告げて、無理せずに

たけのこ採りのシーズンとなりました。秋田県内では昨年、春の山菜採りで35件の遭難事故が発生しており、6名の方が亡くなっています。遭難すると家族へ心配をかけるだけでなく、捜索に多くの人員を要するなど、多大な手間と費用がかかることとなります。(捜索は原則有料です)

### 【遭難しないための心得】

- 入山する場所や駐車場所、帰宅予定時刻を家族へ知らせる
- 単独での入山や午後からの入山は避ける
- 食糧、雨具、着替え、時計、ライター、光る物、発煙筒などを持ち目立つ服装で入山する
- クマ等の対策として、ラジオ、鈴などで音を鳴らしながら行動する
- 迷ったときは歩き回らず、体力の消耗を避けるため、目標物周辺(大木の下や岩陰)で救助を待つ

